

ダイワ高格付日本企業外債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-06

運用報告書(全体版) 繰上償還

(償還日 2020年1月16日)

(作成対象期間 2019年9月11日～2020年1月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	約5年3カ月間 (2016年6月20日～2021年9月10日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06の受益証券
	ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしており、信託期間につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

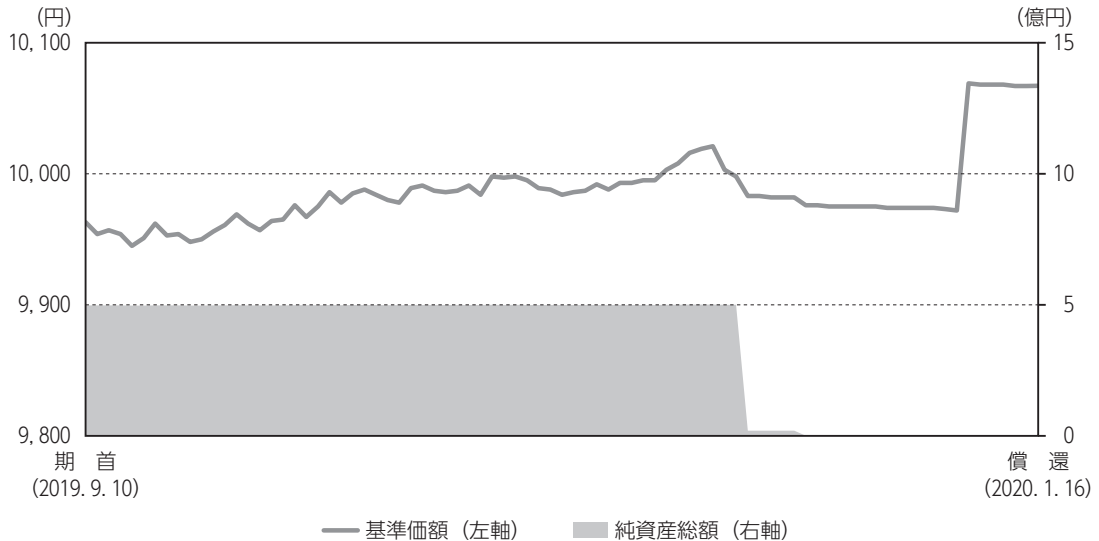
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			受 益 者 利 回 り	公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	元 本 残 存 率
		税込み 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2016年 6 月20日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期末 (2016年 9 月12日)	9,939	30	△ 31	△ 0.3	△ 1.3	91.0	—	100.0
2 期末 (2017年 3 月10日)	9,887	60	8	0.1	△ 0.3	95.5	—	100.0
3 期末 (2017年 9 月11日)	9,964	40	117	1.2	0.8	93.0	—	100.0
4 期末 (2018年 3 月12日)	9,639	20	△ 305	△ 3.1	△ 1.2	92.1	—	100.0
5 期末 (2018年 9 月10日)	9,715	5	81	0.8	△ 0.6	98.5	—	100.0
6 期末 (2019年 3 月11日)	9,831	5	121	1.2	△ 0.0	96.9	—	100.0
7 期末 (2019年 9 月10日)	9,963	5	137	1.4	0.4	95.3	—	83.3
償 還 (2020年 1 月16日)	10,067.10	—	104.10	1.0	0.6	—	—	0.1

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,067円10銭（既払分配金165円）

騰落率：2.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や円安米ドル高を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付日本企業外債ファンド（部分為替ヘッジあり） 2016－06

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 率 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期首) 2019年 9 月10日	円	% 9, 963 —	% 95. 3	% —
9 月末		△ 0. 0	98. 0	—
10月末		0. 3	98. 7	—
11月末		0. 6	97. 2	—
12月末		0. 1	—	—
(償還) 2020年 1 月16日		1. 0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2016. 6. 20 ～ 2020. 1. 16)

■海外債券市況

海外債券市況は、金利はおおむね横ばいになりました。

海外債券市況は、当ファンド設定時より、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の経済政策に対する期待感から、国債金利に連れて社債金利も大きく上昇しました。2017年に入ると、トランプ政権の政策実行能力への懸念や北朝鮮情勢への警戒感などが、金利上昇を抑制する要因となりました。2017年9月以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が継続的な利上げ実施を示唆する中、バランスシートの縮小開始を決定したこともあり、社債金利は国債金利とともに上昇基調となりました。しかし2018年12月からは、米国の金融政策の方向性が緩和に転じ利下げが実行されたことや、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示し米中通商協議への懸念が強まったことなどを受け、社債金利は国債金利とともに低下しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円為替相場は、日本が金融緩和を維持した一方、米国は継続的に利上げを実施したことなど、円安米ドル高が進行する地合いがあったことから、当ファンド設定時から足元にかけて円安圧力が優勢となりました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016－06」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016－06

主として日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

（2016. 6. 20 ～ 2020. 1. 16）

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016－06」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行いました。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016－06

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期30円、第2期60円、第3期40円、第4期20円、第5期～第7期各5円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 11～2020. 1. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0. 192%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 987円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0. 115)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0. 067)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 010)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	20	0. 195	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

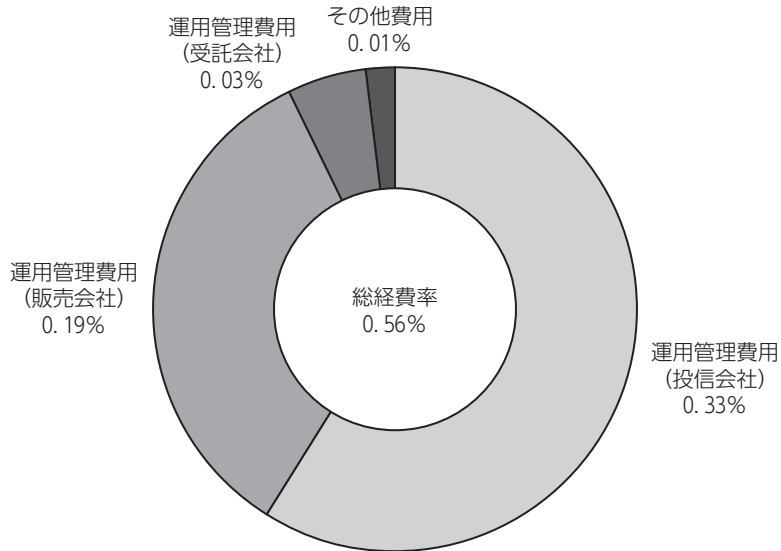
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月11日から2020年1月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付 日本企業外債 マザーファンド2016-06	—	—	453,689	505,377

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千口
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06	453,689

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月16日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,009	100.0
投資信託財産総額	1,009	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年1月16日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	1,009,258円
コール・ローン等	1,009,258
(B) 負債	2,548
未払信託報酬	2,547
未払利息	1
(C) 純資産総額 (A - B)	1,006,710
元本	1,000,000
償還差損益金	6,710
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当り償還価額 (C / D)	10,067円10銭

* 償還時の計算口数当りの純資産額は10,067円10銭です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年1月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 506円
受取利息	17
支払利息	△ 523
(B) 有価証券売買損益	43,980,226
売買益	50,500,323
売買損	△ 6,520,097
(C) 有価証券評価差損益	△ 41,630,763
(D) 信託報酬等	△ 644,745
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	1,704,212
(F) 前期繰越損益金	△ 1,827,702
(G) 解約差損益金	130,200
(H) 合計 (E + F + G)	6,710
償還差損益金 (H)	6,710

- (注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

投 資 信 託 財 産 運 用 総 括 表					
信 託 期 間	投資信託契約締結日	2016年 6 月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年 1 月16日		資 産 総 額	1, 009, 258円
区 分	投 資 信 託 契 約 締 結 当 初	投資信託契約終了時	差 引 増 減 又 は 追 加 信 託	負 債 総 額	2, 548円
				純 資 産 総 額	1, 006, 710円
受 益 権 口 数	600, 000, 000口	1, 000, 000口	△599, 000, 000口	受 益 権 口 数	1, 000, 000口
元 本 額	600, 000, 000円	1, 000, 000円	△599, 000, 000円	1 単位当り償還金	10, 067円10銭

毎計算期末の状況

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 単位当り分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 1 期	600, 000, 000	596, 317, 244	9, 939	30	0. 30
第 2 期	600, 000, 000	593, 199, 286	9, 887	60	0. 60
第 3 期	600, 000, 000	597, 868, 831	9, 964	40	0. 40
第 4 期	600, 000, 000	578, 330, 474	9, 639	20	0. 20
第 5 期	600, 000, 000	582, 882, 066	9, 715	5	0. 05
第 6 期	600, 000, 000	589, 860, 490	9, 831	5	0. 05
第 7 期	500, 000, 000	498, 172, 298	9, 963	5	0. 05
信託期間中 1 単位当り総収益金および年平均収益率				232円10銭	0. 65%

(注) 1 単位は受益権 1 万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	10, 067円10銭

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

運用報告書 第7期 (決算日 2019年9月10日)

(作成対象期間 2019年3月12日～2019年9月10日)

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

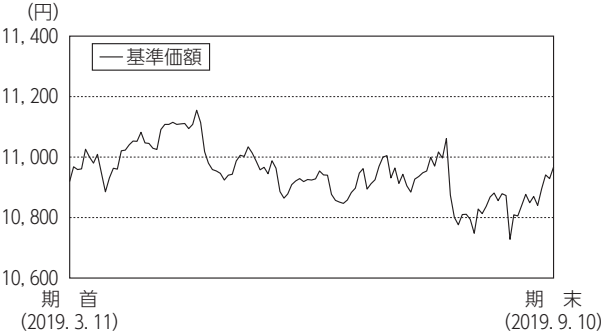
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率 %		
(期首) 2019年 3 月11日	10,920	—	98.0	—
3 月末	11,021	0.9	97.9	—
4 月末	11,114	1.8	97.7	—
5 月末	10,963	0.4	96.3	—
6 月末	10,897	△ 0.2	97.5	—
7 月末	10,997	0.7	97.3	—
8 月末	10,877	△ 0.4	95.5	—
(期末) 2019年 9 月10日	10,967	0.4	95.4	—

(注 1) 騰落率は期首比。
 (注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
 (注 3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,920円 期末：10,967円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となったものの、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）がプラスに寄与し、基準価額は小幅に上昇しました。

◆投資環境について

○米国債券市場

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において2019年内は利上げを行わない見通しであると示されたことを受けて、国債金利は低下傾向となりました。5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことやFRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げの実施などを背景に、国債金利の低下が続きました。

米ドル建ての社債については、FRBの緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小圧力が強まる展開となりました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首よりおおむね横ばいで推移しました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、円高傾向となりました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2019年 3月12日から2019年 9月10日まで)

外 国	アメリカ	地方債証券 特殊債券 社債券	買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			—	(1,000)
			—	(1,200)
			6,818	3,186
				(1,500)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年 3月12日から2019年 9月10日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The (日本) 2.85% 2021/9/8	503,755	Japan Tobacco Inc (日本) 2.8% 2026/4/13	212,134
Toyota Industries Corp (日本) 3.11% 2022/3/12	132,569	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc (日本) 3.85% 2026/3/1	136,390
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc (日本) 2.87763% 2023/3/2	109,345		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	61,200	62,132	6,676,137	95.4	—	14.3	24.5	56.5

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期		末				
区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		Tokyo Metropolitan Government	地方債証券	2.1250	千アメリカ・ドル 1,000	千アメリカ・ドル 1,000	千円 107,487	2020/05/19
		JAPAN BANK FOR INTL. COOP.	特殊債券	3.0000	1,500	1,579	169,702	2024/05/29
		JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	特殊債券	2.1250	4,800	4,812	517,121	2021/04/13
		Development Bank of Japan	特殊債券	1.6250	4,000	3,999	429,705	2019/09/25
		Sumitomo Mitsui Banking Corp	社 債 券	2.4500	1,700	1,701	182,820	2020/01/16
		Chiba Bank Ltd/The	社 債 券	2.7500	2,000	2,001	215,016	2020/07/29
		Nissan Motor Acceptance Corp	社 債 券	2.5500	1,800	1,801	193,578	2021/03/08
		Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	2.6320	1,800	1,810	194,562	2021/04/12
		Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	3.4770	3,200	3,377	362,892	2026/04/12
		Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	2.9500	1,700	1,718	184,676	2021/03/01
		Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	2.8776	3,200	3,201	343,977	2023/03/02
		Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	3.7840	4,600	4,953	532,205	2026/03/09
		Seven & i Holdings Co Ltd	社 債 券	3.3500	4,000	4,094	439,913	2021/09/17
		Toyota Industries Corp	社 債 券	3.1100	1,200	1,224	131,562	2022/03/12
		Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.0000	1,700	1,694	182,104	2021/04/13
		Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.8000	1,000	1,014	108,982	2026/04/13
		ORIX Corp	社 債 券	2.6500	4,800	4,816	517,487	2021/04/13
		Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	2.2930	4,000	4,001	429,937	2021/04/23
		Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	2.3620	1,000	1,001	107,577	2021/05/28
		Toyota Motor Credit Corp	社 債 券	2.6250	2,400	2,453	263,648	2023/01/10
		Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The	社 債 券	2.8500	4,600	4,656	500,305	2021/09/08
		Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.5000	1,800	1,799	193,357	2020/03/09
		Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.6520	3,400	3,420	367,514	2022/09/19
合 計	銘柄数	23銘柄						
	金 額			61,200	62,132	6,676,137		

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,676,137	95.4
コール・ローン等、その他	321,161	4.6
投資信託財産総額	6,997,298	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.45円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（6,762,411千円）の投資信託財産総額（6,997,298千円）に対する比率は、96.6%です。

■損益の状況

当期 自 2019年3月12日 至 2019年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	89,779,592円
受取利息	89,814,650
支払利息	△ 35,058
(B) 有価証券売買損益	△ 59,927,933
売買益	155,533,768
売買損	△ 215,461,701
(C) その他費用	△ 391,272
(D) 当期損益金 (A + B + C)	29,460,387
(E) 前期繰越損益金	579,634,412
(F) 解約差損益金	△ 8,031,696
(G) 追加信託差損益金	15,663,006
(H) 合計 (D + E + F + G)	616,726,109
次期繰越損益金 (H)	616,726,109

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,997,298,762円
コール・ローン等	274,765,279
公社債（評価額）	6,676,137,556
未収利息	45,593,920
前払費用	802,007
(B) 負債	139
その他未払費用	139
(C) 純資産総額 (A - B)	6,997,298,623
元本	6,380,572,514
次期繰越損益金	616,726,109
(D) 受益権総口数	6,380,572,514口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,967円

* 期首における元本額は6,298,203,824円、当作成期間中における追加設定元本額は173,836,994円、同解約元本額は91,468,304円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ高格付日本企業外債ファンド（為替ヘッジあり）2016-06 5,880,144,578円、ダイワ高格付日本企業外債ファンド（為替ヘッジなし）2016-06 46,738,321円、ダイワ高格付日本企業外債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-06 453,689,615円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,967円です。